

製品名: サイクリン B1 (リン酸化 Ser126) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21488**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	人間
標識	ホスホ
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:48kD;Observed MW:55kD

抗原情報

遺伝子名	CCNB1
別名	CCNB1;CCNB;G2/mitotic-specific cyclin-B1
遺伝子 ID	891.0
SwissProt ID	P14635
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

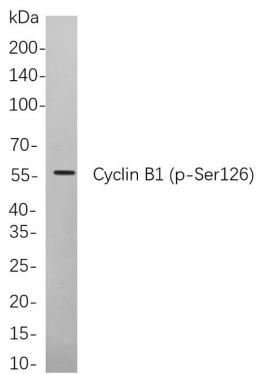
細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、有糸分裂に関与する調節タンパク質である。遺伝子産物は p34(cdc2)と複合体を形成し、成熟促進因子 (MPF) を形成する。恒常的に発現する転写産物と、主に G2/M 期に発現する細胞周期

制御転写産物という2つの代替転写産物が見出されている。これらの異なる転写産物は、異なる転写開始部位を利用することで生じる。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



Cyclin B1 (p-Ser126) Rabbit mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。